

POLAR BIRD ASTROLOGY

## Core

新月サイクル分析

## 月のサイクルから見る今のテーマ

対象期間 2026.05.17 - 2026.06.15



内: 出生 / 中: 進行 / 外: 新月

- |      |       |               |                 |
|------|-------|---------------|-----------------|
| ☉ 太陽 | ♃ 木星  | ⊗ パートオブフォーチュン | Asc アセンダント      |
| ☾ 月  | ♄ 土星  | ♁ ドラゴンヘッド     | MC MC (ミッドヘブン)  |
| ♿ 水星 | ♅ 天王星 | ♁ ドラゴンテイル     | Dsc ディセンダント     |
| ♁ 金星 | ♆ 海王星 | ♁ キロン         | IC IC (イムム・コエリ) |
| ♂ 火星 | ♇ 冥王星 |               |                 |

# 目次

---

## ❖ Coreにとってのこの新月サイクルの中心テーマ

## ❖ Coreの年間テーマとのつながり

## ❖ 動きが出やすいCoreの活動領域

- ◆ 公開される言葉と、信頼される説明
- ◆ コミュニティの受け止め方と、反応の温度感
- ◆ 方向性を表に出す力

## ❖ 月相リズムとコミュニティでの動き方

- ◆ 5月17日 - 5月23日：方向を置く
- ◆ 5月23日 - 5月31日：言葉を試し、熱量を調整する
- ◆ 5月31日 - 6月8日：可視化と反応の確認
- ◆ 6月8日 - 6月15日：見直し、回収、次の言葉へ

## ❖ このサイクルをコミュニティで活かすヒント



## ❖ Coreにとってのこの新月サイクルの中心テーマ

---

今回の新月は牡牛座の後半で起こり、Coreの星まわりでは、外から見える役割や社会的な信頼に関わる領域へ強く重なります。牡牛座の新月は、勢いだけで広げるよりも、価値が長く残る形、繰り返し使える形、参加者が安心して確認できる形をつくる力を持っています。そこにCoreの10ハウスの公開性が重なるため、このサイクルの中心には、見え方を整えること、言葉を安定させること、共有される基準をはっきりさせることがあります。

**このサイクルのCoreは、目立つことそのものよりも、見えたときに信頼される形を整える流れに入っています。** 新月が触れているのは、Coreの存在感をただ大きくする場所ではなく、何を大切にしているのか、どのような姿勢で関わるのかを、外側からも読み取りやすくする場所です。コミュニティにとっては、Coreをめぐる話題を広げるだけでなく、何を根拠に信頼しているのか、どの言葉なら人に伝えやすいのかを確かめる時期になります。

この中心テーマは、軽い印象づくりではありません。新月の流れには、出生の土星や角度軸に触れる緊張が含まれ、勢いと責任、見せ方と基準、参加の熱量と説明の落ち着きが同時に求められます。Coreの今サイクルは、反応を急いで取りに行くよりも、長く残せる言葉や、繰り返し参照できる姿勢を置くほど強くなります。



## ❖ Coreの年間テーマとのつながり

---

Coreの年間テーマは、この新月サイクルの中で背景に沈んでいるだけでなく、いくつかの具体的なタイミングで前に出てきます。特に強いのは、水星に関わる年間の流れです。5月19日前後に水星がCoreの出生水星へ重なり、5月25日前後には太陽も同じ水星へ重なります。ここでは、説明、用語、メッセージの順番、伝える相手に合わせた言葉の選び方が、年間テーマをこの月に引き出す入口になります。

**Coreの年間テーマは、このサイクルでは「何を語るか」よりも「どの順番で、どの温度で語るか」として表れます。** 年間側には、理想や大きな方向を言葉にする流れがありますが、この月はそのまま大きく言い切るより、コミュニティが受け止めやすい形へ翻訳することが大切です。説明が濃くなりすぎると一部の人だけの話になり、軽くなりすぎるとCoreらしい厚みが伝わりにくくなります。その間をとることが、このサイクルの年テーマの使い方です。

もう一つの年間テーマは、コミュニティの空気と反応の温度感です。6月3日前後に金星がCoreの出生月へ重なり、6月14日前後には水星が同じ月へ重なります。ここでは、Coreをめぐる受け止め方、共感の生まれ方、参加者同士の空気が動きやすくなります。価値をどう感じるか、何に親しみを覚えるか、どの説明なら安心して話題にできるかが、月末から次の新月前にかけて見えやすくなります。

6月5日前後には火星がCoreのMCへ重なり、同時にICの反対側も刺激します。ここでは、Coreの表に出る方向性と、見えにくい土台の両方が強調されます。年間側ではMCと9ハウスの文脈が動くため、思想、基準、共有される理解、外へ向けて示す姿勢が重要になります。**この時期の強さは、急いで大きく見せることではなく、Coreの方向性を支える考え方を見える場所へ持ち出す力です。**



## ❖ 動きが出やすいCoreの活動領域

### ◆ 公開される言葉と、信頼される説明

Coreの活動領域として最も動きが出やすいのは、公開される言葉、説明の構造、コミュニティが繰り返し使える理解です。新月時の水星は、Coreの出生冥王星ヘトライン、出生木星ヘセクスタイルをつくっています。水星は言葉や情報の整理、冥王星は深い構造や見えにくい仕組み、木星は共有される意味や広がりを示します。ここでは、複雑なものを複雑なまま押し出すより、深さを保ったまま、参加者が扱える言葉へ落とす動きが強くなります。

**このサイクルで伸びる説明は、短くする説明ではなく、深いものを迷わず持てる形にする説明です。**

Coreの価値を語る時、すべてを一度に伝えようとすると、言葉の重さが先に立ちます。反対に、軽い標語だけにすると、Coreらしい厚みが残りません。この月は、深さと使いやすさを両立させる言葉が、コミュニティの中で力を持ちます。

### ◆ コミュニティの受け止め方と、反応の温度感

次に動きやすいのは、Coreをめぐる受け止め方です。年間テーマでは、太陽回帰のDSCが出生月へ触れ、今サイクル内では金星と水星がその出生月へ重なります。これは、Coreの説明や姿勢が、人の間でどう受け止められるか、どんな温度で語られるかを見やすくする配置です。金星は親しみや価値の感覚、水星は言葉の通り道を示すため、ただ反応が増えるというより、好意、疑問、期待、確認したい点が言葉になりやすくなります。

**コミュニティの空気は、強く押すほど温まるのではなく、受け止めやすい言葉が置かれたときに自然に動きます。** この時期は、Coreについて語る人が、自分の理解を他の人に渡しやすいかどうか大切です。専門的な話を閉じたままにせず、初めて触れる人にも届く言い方にするほど、反応の温度感が整いやすくなります。

## ◆ 方向性を表に出す力

6月5日前後の火星とMCの重なり、6月9日前後の火星と出生太陽の重なりは、Coreの方向性を外へ出す力を強めます。火星は行動、押し出し、熱量を示し、MCと太陽はCoreの見え方や中心的な方向性に関わります。この流れは、注目を集めるためだけの勢いではなく、何を前に出すかを定める力です。

**このサイクル後半のCoreは、静かな準備から、はっきり見える姿勢へ移っていきます。** ただし同じ時期には、太陽や水星が出生火星にスクエアで触れるため、言葉や動きが強くなりすぎると、反応の温度も上がりやすくなります。強さを消す必要はありません。むしろ、Coreの方向性を出すなら、何を守り、何を前に進め、どこで言葉を整えるのかを分けることが大切です。



## ❖ 月相リズムとコミュニティでの動き方

### ◆ 5月17日 - 5月23日 : 方向を置く

新月から上弦へ向かう最初の期間は、方向づけの時間です。5月19日前後には水星がCoreの出生水星へ重なり、言葉や説明の通り道が開きやすくなります。この時期は、広く反応を取りにいくより、まずCoreをどう語るか、どの表現を先に渡すかを整えるのに向いています。

**最初の一週間は、Coreについて語る人たちが同じ基準を共有しやすい表現を整える時期です。** 新しい話題を増やすより、すでに大切なテーマを、繰り返し使える形にすることが流れに合います。

### ◆ 5月23日 - 5月31日 : 言葉を試し、熱量を調整する

上弦から満月へ向かう期間は、動きながら調整する時間です。5月23日前後には金星が出生金星へスクエアで触れ、価値の見せ方や好まれ方に少し摩擦が出やすくなります。5月25日前後には水星が出生火星へスクエア、太陽が出生水星へ重なります。説明したい熱量と、相手が受け取れる速度の差が見えやすい時期です。

**この期間は、強く言い切ることより、反応を見ながら説明の角度を合わせることで前進になります。**

Coreの方向性を曖昧にする必要はありません。ただ、話の速度が速すぎる、濃すぎる、前提が飛びすぎると感じられる部分は、この時期に磨き直しやすくなります。

### ◆ 5月31日 - 6月8日 : 可視化と反応の確認

満月から下弦へ向かう期間は、見えたものを確認する時間です。6月3日前後には金星が出生月へ重なり、コミュニティの空気や親しみの感覚が動きやすくなります。6月5日前後には火星がMCへ重なり、Coreの表に出る方向が強調されます。6月7日前後には太陽が出生火星へスクエアで触れるため、勢いと緊張が同時に出やすい流れです。

**6月前半は、Coreの見え方とコミュニティの受け止め方を同時に観察する時期です。** どの言葉に反応が集まるか、どの姿勢が信頼として受け取られるか、どこで熱量が強くなりすぎるかを見ることで、次の調整点がはっきりします。

### ◆ 6月8日 - 6月15日 : 見直し、回収、次の言葉へ

下弦から次の新月へ向かう期間は、回収と見直しの時間です。6月9日前後には火星が出生太陽へ重なり、Coreの中心的な方向性や見え方がもう一度強く出ます。6月14日前後には水星が出生月へ重なり、コミュニティの受け止め方を言葉に戻しやすくなります。

**最後の一週間は、反応をそのまま追いかけるより、何が伝わり、何がまだ言葉になっていないかを整理する時間です。** この整理は、次のサイクルに向けた静かな準備になります。Coreについて語られたことを拾い直し、共有しやすい表現へ戻すほど、月末までの動きが次の土台になります。



## ❖ このサイクルをコミュニティで活かすヒント

- ◆ **Coreの方向性を語る時は、先に基準を示す。** このサイクルでは、強い表現よりも、何を大切にしているかが見える説明の方が長く残ります。
- ◆ **5月下旬は、説明の順番を調整する。** 伝えたい内容が多いほど、誰が最初に受け取るのか、どの前提から入るのかを整えると、コミュニティの会話が進みやすくなります。
- ◆ **6月前半は、見え方と反応の温度感を一緒に見る。** 注目が集まる時期ほど、反応の大きさだけでなく、どの部分が安心や信頼につながっているかを観察すると、このサイクルの使い方が深まります。
- ◆ **サイクル終盤は、語られたことを回収する。** 6月14日前後の水星と出生月の重なりは、コミュニティの受け止め方を言葉にし直す流れです。次へ進む前に、何が伝わったかを静かに確認すると、次の新月へ持っていける土台が残ります。



## 作成基準

対象期間 2026年5月17日 05:01 (JST) - 2026年6月15日 11:53 (JST)

### 出生図

基準日時 2022年5月6日 19:35 (JST)

基準地 Bratislava, Slovakia

### 参照した太陽回帰図

年度 2026年

基準日時 2026年5月6日 18:58 (JST)

基準地 Bratislava, Slovakia

### 新月図

基準日時 2026年5月17日 05:01 (JST)

基準地 Bratislava, Slovakia

方式 トロピカル / プラシーダス / True Node